事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	スポーツ活動推進事業					事業通番	4631
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり		終了年度	--
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実		担当課名	生涯学習課
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	生涯学習係
	項	保健体育費		目	保健体育総務費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	スポーツ推進基本法、会津美里町スポーツ振興事業補助金交付要綱
事務事業の概要	町民や各種団体・実行委員会等のスポーツ活動を支援するため、大会運営や補助金等の交付を行う。 【主な取組】令和７年度は、町民スポーツ大会やスキーなどのスポーツ教室の実施や、町内のスポーツ団体及び市町村対抗各種スポーツ大会に参加する団体に補助金を交付する。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	スポーツを通して心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等を図る。
成果の考え方	A　スポーツイベントに取り組む人数を把握し、スポーツ人口を図る一つの指標とした。 B　市町村対抗スポーツ大会への参加を通して、競技スポーツの取組を図る一つの指標とした。

【成果指標】		単位
A	ふれあいウォークやスキー教室に参加した人数	人
B	市町村対抗スポーツ大会への参加	種目

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	3,452	4,904	5,471	5,982	3,984
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		778	792	1,054	
一般財源	3,452	4,126	4,679	4,928	3,984

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	30,000	1,000	1,000	1,000	300
	15,640	582	802	787	51
B	3	3	3	3	3
	3	3	3	3	3

（3）活動実績及び成果

活動実績	・例年開催していた「ふれあいウォーク」については、令和7年度「ふれあいの森公園陸上競技場」が大規模改修工事を行ったため開催には至らなかった。 ・スキー、スノーボード教室については、小山スキー場で開催し、18人の参加者があった。 ・市町村対抗大会の結果については、ふくしま駅伝：総合４位・町の部優勝、軟式野球大会：２回戦に進出、ソフトボール大会：初戦敗退した。
成果	・スキー教室については、町スキークラブと連携し技術の向上に繋げることができた。 ・ふくしま駅伝については、町の部優勝のほか連続して上位入賞を果たし、強化選手の競技力向上や町全体のスポーツ振興に繋がった。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 多くの町民がスポーツ活動に親しむ機会を設けることにより、スポーツ事業の拡充を図りながら、より効果的なスポーツ事業を展開する。
コストの方向性	現状維持	（理由） 事業のスクラップ＆ビルドをしながら事業の内容を見直しし、限られた予算の中で気軽にできる適度な運動の習慣化を促進するための各種事業を実施して町民の健康づくりを支援する。
今後の方向性	現状維持	（理由） 総合型地域スポーツクラブや各種スポーツ団体との連携より、町民の健康づくりにつながるスポーツの契機づくりに努める。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	生涯スポーツ振興事業					事業通番	4637
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり		終了年度	--
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実		担当課名	生涯学習課
予算科目	会計	一般会計	款	教育費		担当係名	生涯学習係
	項	保健体育費	目	保健体育総務費		重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	スポーツ基本法、会津美里町スポーツ推進審議会条例、会津美里町スポーツ推進員条例、会津美里町スポーツ推進委員会運営規則、会津美里町スポーツ大会出場激励金交付要綱
事務事業の概要	町民が生涯にわたりスポーツを通して生きがいづくり、健康づくりを図れるよう、スポーツ政策の審議、スポーツ事業の企画・立案、実技指導を行う。また、町民のスポーツ普及奨励と競技力向上を図るため激励金を交付する。 【主な取組】令和７年度は、スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会の開催を通し、スポーツ政策の審議、スポーツ事業の企画・立案、実技指導を行うとともに、各種スポーツ大会に参加する町民に対し激励金を交付する。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	スポーツを通して心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等を得る。
成果の考え方	A　町民のスポーツ普及奨励を推進するためスポーツの機会づくりを図る指標とした。 B　町民のスポーツ競技力向上を図る指標として設定した。

【成果指標】		単位
A	スポーツ推進委員会が主催・協力したスポーツ教室等の件数	件
B	激励金交付件数	件

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	747	1,149	1,589	1,342	1,896
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	747	1,149	1,589	1,342	1,896

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	8	7	7	7	7
	5	26	16	3	6
B	6	11	16	16	17
	6	12	13	16	16

（3）活動実績及び成果

活動実績	・町スポーツ推進委員会では、ニュースポーツ教室を4回、教育委員会事業への協力を1回（町民ソフトバレーボール大会）行った。また、県障がい者スポーツ協会の出前講座を活用し、推進委向けの実技研修会を1回開催した。 ・激励金については、全国大会13件、東北大会3件に交付した。
成果	・スポーツ推進委員会主催事業としてニュースポーツ教室を開催し、町民のスポーツ機会を設け、心身の健全な発達を促すことができた。 ・激励金交付事業については年々交付件数が増加しており、スポーツに対する意識と競技力の向上が図られている。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室や関係団体との連携により、町民のスポーツ機会の創出に努める。
コストの方向性	現状維持	（理由） スポーツ推進委員の能力向上を図るため研修会への参加を促進するとともに、予算の範囲内で激励金の交付を行い、町民の競技力の向上に努める。
今後の方向性	現状維持	（理由） スポーツ推進委員を中心として運動の習慣化につながる事業を実施する。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	体育施設管理運営事業					事業通番	4661
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり		終了年度	--
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実		担当課名	生涯学習課
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	総務係
	項	保健体育費		目	保健体育施設費	重点プロジェクト	該当

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町体育施設条例、会津美里町体育施設条例施行規則
事務事業の概要	生涯スポーツの振興を図るため、体育施設の適正な維持管理を行う。高田・新鶴地域体育施設は指定管理委託を実施。 【主な取組】令和７年度は、ふれあいの森陸上競技場の改修を行い良好な環境整備を図る。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町民が安全で快適に利用できる。
成果の考え方	利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の適正な管理に務める。

【成果指標】		単位
A	利用件数	件
B	延べ利用者数	人

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	55,836	95,892	334,968	479,631	340,898
国庫支出金					
県支出金					
地方債		34,700	252,500	415,600	80,200
その他	398	378	2,580	7,024	80,196
一般財源	55,438	60,814	79,888	57,007	180,502

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	2,444	3,277	2,554	3,093	3,428
B	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
	50,903	54,788	38,223	39,137	49,560

（3）活動実績及び成果

活動実績	・生涯スポーツの振興を図るため、体育施設の適正な管理運営を行った。 ・高田地域及び新鶴地域の体育施設については、指定管理制度を活用し、効率的な管理運営に努めた。 ・ふれあいの森公園陸上競技場について、一部全天候舗装を行う等の改修を実施した。
成果	体育施設の適切な維持管理に努め、町民が安全かつ快適にスポーツが行える良好な環境を整備した。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 体育施設を多くの町民が利用できるよう指定管理者とも連携し、効率的な施設管理を行う。
コストの方向性	現状維持	（理由） ふれあいの森公園陸上競技場の再整備と併せて、老朽化し利用者が少ない体育施設については廃止等を検討する。
今後の方向性	生産性改善	（理由） ふれあいの森公園等整備利活用基本構想により施設の改修事業に取り組むが、公共施設等総合管理計画に基づき、利用者やスポーツ推進審議会の意見を聞きながら施設の統廃合を進める必要がある。